

# 2024 年度 関連施設申請のご案内

## I. 関連施設とは

日本乳癌学会関連施設とは、本学会によって認定された診療・教育施設で、乳腺疾患を診療するための症例数が一定以上あり、かつ本学会の医師が常勤で在籍し、認定施設との連携下に定期的指導教育体制がとられている施設である。

## II. 関連施設申請資格

- (1) 乳癌の画像診断・手術療法・薬物療法または放射線治療症例数がいずれか一つの領域で年間 20 例以上行われていること（混合不可）
- (2) 認定施設の専門医が定期的に指導していること
- (3) 本学会会員が常勤していること
- (4) 検査室、病歴の記載および整理、剖検室、教育行事などについては、原則として認定施設に準じること
- (5) 手術で申請する場合は NCD 乳癌登録を実施していること

## III. 申請期間

2023 年 8 月 1 日～2023 年 9 月 30 日 23:59

※関連施設の申請書類は認定施設がとりまとめ、一括で申請すること

但し、認定施設と年を違えて申請する場合は、関連施設から直接提出すること

申請書類はデータにてご提出していただくこととなりました。詳細は V. 提出方法にてご確認ください。

締め切り直前の問い合わせには対応できないことがありますので、日数に余裕をもって申請してください。尚、申請期間を過ぎての申請は受理できません。

## IV.提出書類

### 作成にあたっての注意事項

・虚偽の記載が判明した場合には、申請者及び施設の認定を遡って停止となる可能性があります

- ・手術療法、画像診断、放射線治療、薬物療法から1つ選択してください
- ・旧書式による申請書類は受けません、最新版をダウンロードしてください
- ・必ず手元に申請書類を保管してください  
事務局より、申請書類について問い合わせをする可能性があります
- ・Excelのまま提出するものとPDFにして提出するものがあります（VII.参照）  
いずれもVIIチェックリストにあるファイル名にして提出してください

#### ■ 証明書

- ① 関連施設申請書
  - ② 設備内容・実績報告書
  - ③ 常勤する日本乳癌学会会員の履歴書
  - ④ 勤務報告書
  - ⑤ 乳癌症例記録
    - ・手術療法、画像診断、放射線治療、薬物療法何れかの領域において20例以上あること
    - ・画像診断、放射線治療、薬物療法を選択した場合は、症例記録に詳細なレポート20例提出すること
- ※COVID-19に伴う診療縮小による症例数への影響が生じた場合、その申告があれば、前年度、前々年度の実績を参考に、お認めする可能性があります。申告書（書式自由）をご提出ください。

#### 《申請書類における患者個人情報の保護について》

- ・提出書類記入にあたっては、個人が特定出来ないよう施設の個人情報取り扱いに関する規定を順守すること
- ・施設監査を行った際にスムーズに診療録や手術記録とつき合わせ確認が出来るようにしておくこと

各診療領域の条件については、以下の通り定める

**【手術療法】**

- ・2022年の症例であること
- ・専門領域選択（乳腺）まで記入した症例のみをNCD登録症例として認める
- ・症例記録の提出は不要、事務局にてNCDに照会いたします

※該当症例につきましては別紙をご参照ください

**【画像診断】**

- ・2022年の初診であること
- ・乳癌症例記録(画像診断)には、初診年月・診断手技・病理組織診断確認日・病理組織診断名の記載が必須
- ・組織診断による癌の診断確定を得ていること\*が必要(細胞診による診断は不可)  
\*申請者自らが針生検などにより病理組織診断が行わなくても、最終的に”組織診断による乳癌の確定診断を得ていること”のフィードバックを受け、自らの画像診断の精度管理を行っていれば、この要件をクリアしていると判断します
- ・再発・転移に対する診断は認めない

**【放射線治療】**

- ・2022年の初診、もしくは新規治療開始症例
- ・乳癌症例記録(放射線治療)には、初診年月・原発、再発/転移・病理組織診断名・術式・照射部位・照射期間・照射線量の記載が必須

**【薬物療法】**

- ・2022年の初診、もしくは新規治療開始症例
- ・乳癌症例記録(薬物療法)には、初診年月・病理組織診断名・HR・HER2・治療ライン（術前/術後/進行・転移再発）・薬剤名・投与期間の記載は必須
- ・殺細胞性抗癌薬に限る（ホルモン療法・分子標的治療のみ及びその併用は不可。抗体薬物複合体は可。）
- ・殺細胞性抗癌薬の初回投与開始症例のみとし、治療の継続やレジメンの変更などは不可

**認定施設と年を違えて申請する場合は以下の書類も添付すること**

- ⑦ 認定施設に所属する関連施設
  - ・一人の専門医が指導する関連施設は4施設までとする
- ⑧ 2021年・2022年関連施設指導実績

## V. 提出方法

親施設となる認定施設にご提出ください。認定施設からの申請でないと受け付けません。  
なお、親となる認定施設と年を違えての申請の場合のみ、zip ファイルにして、以下のサーバーにアップロードしてください。

<https://jbcs.xdrive.jp/index.php/s/rF77ZbrSXpAWkpe>

詳しい申請方法については、別途「申請手順」をご確認下さい

Excel のまま提出するものと PDF にするものがありますのでVII. チェックリストにてご確認ください

申請書類の確認が完了次第、受領メールを送信いたします

申請時期により、確認に 2 週間程度かかる場合もありますので、ご了承ください

## VI. 審査結果について

可否通知は年内に郵送にてお送りいたします。

合格通知に認定料振込口座を記載いたします

合格施設には認定料（20,000 円）の納付が確認でき次第、認定証を発送いたします

認定期間が 1 年の場合、認定料は 10,000 円となります

## VII.チェックリスト

	No		提出形式	ファイル名	備考
<input type="checkbox"/>	-	証明書	PDF	kanren_証明書_施設名	
<input type="checkbox"/>	①	関連施設申請書	Excel のまま	kanren_申請書_施設名	
<input type="checkbox"/>	②	設備内容・実績報告書			
<input type="checkbox"/>	③	常勤する日本乳癌学会 会員の履歴書			
<input type="checkbox"/>	④	勤務報告書			
<input type="checkbox"/>	⑤	乳癌症例記録			画像診断、放射線治療、薬物療法を選択の場合

認定施設と年を違えて申請する場合のみ提出するもの

<input type="checkbox"/>	⑦	認定施設に所属する関連施設	Excel のまま	kanren_7-8_施設名	
<input type="checkbox"/>	⑧	2021年・2022年関連施設指導実績			